

自慢できる家造り

住宅は資産です (好立地・住宅性能が良い家)

プレゼンスの考え方は、その土地に一生、しばりつけられるのではなく、未来に向けて変化していくライフスタイルに合わせ、20年、30年後でも「売却したい」や「賃貸にしたい」などが、有利にできるよう資産価値の下がりにくい家造りをご提案しています。



高気密・高断熱住宅の落とし穴!



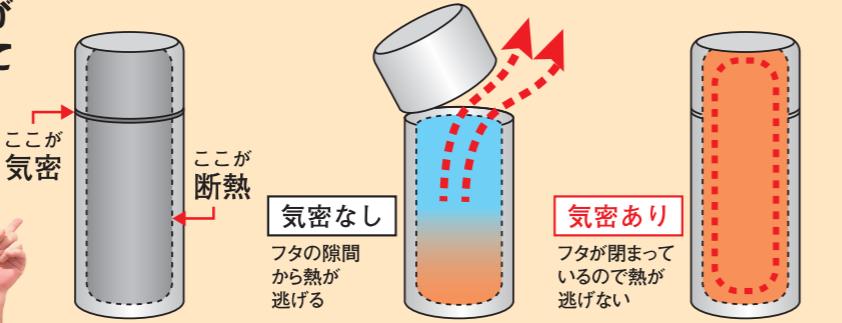
はずなのに!



そのワケは! ▶ 高断熱仕様ではあったが、気密工事が不十分だったのが原因!

断熱性能がいくら良くなても、気密性能が低ければ冷暖房の空気が、すき間から逃げていくので快適な家になりません!

魔法瓶で解説します!



断熱性と気密性は、どちらか一方でも性能が劣ると家にとってよくありません。

そもそも高気密・高断熱住宅のメリットとは!

冷暖房費の削減

家にすき間がないので温度が逃げない。一定の温度が保たれて一度室内が希望温度に達したら冷暖房を調整して節電ができます。



ヒートショック回避

家中全体の温度が一定に保たれ、廊下や洗面所、トイレ、浴室で急に温度が下がらないため、ヒートショックを回避する事ができます。



防音・遮音性が高い

気密性が高ければ空気の流れもなく、音の入り込みも少なくなります。高性能樹脂サッシを併用すればなお防音・遮音性はさらに高まります。



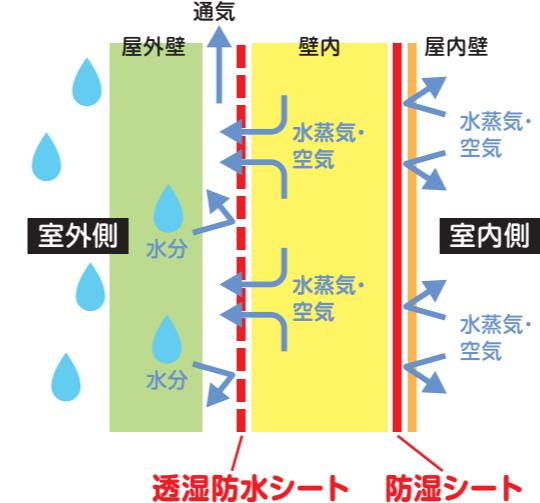
長寿命住宅

気密性が高ければ壁内に湿気が入らなくなり、壁内が濡れて(壁内結露)木材を腐らすという事がなくなります。家の長寿命化には断熱性と気密性は欠かせない仕様になります。

どの建売住宅も同じ、ではありません。

高気密・高断熱を謳っている業者はたくさん存在します。しかし、本当の高気密・高断熱住宅をわかっている業者はまだ少ないのが現状です。特に建売住宅はどんな仕様になっているかわかりません!だからこそ、納得いくまで話を聞きながら住宅選びをしましょう。

プレゼンスの高断熱・高気密のしくみ



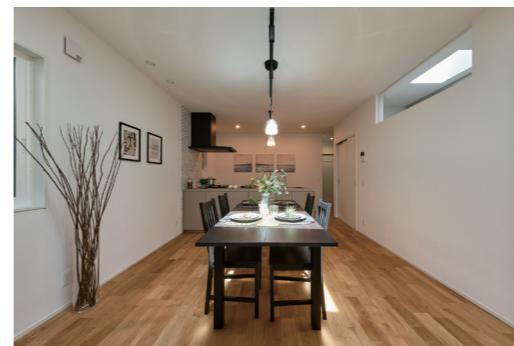
※透湿防水シートと防湿シート

屋外からの雨水や湿気は外壁材のペーベルパワーボードで防ぎますがそれでも万一水分が浸入した場合には透湿防水シート※が守ります。壁内は木なので水分は多少あります。その湿気はシートが透湿なので通気層を通して外へ逃がします。

室内側には防湿シート(気密シート)※が貼ってありますので、室内に湿気は入り込みません。また、室内の湿気や空気も壁内へ入り込む事はありません!

完成したら見えなくなる場所だからこそ、さらに厳しい目でチェック!

この、透湿防水シートや防湿シート(気密シート)は家が完成したら見えなくなってしまう部分です。だからこそ、プレゼンスでは施工検査を第三者機関に依頼し、より厳密な検査を行っています。



工事途中に検査をして適合後に仕上げを施工します



工事途中の過程が確認できる建売住宅を選びましょう!

必見! 大手ハウスメーカーの気密工事手抜き施工の実態

日本住環境株式会社

当社の取引先であり、気密シート先駆けの会社、日本住環境株式会社様のYouTube動画です。約20分くらいの動画ですが、ご興味がある方は右のQRコードからアクセスしてご覧ください。



プレゼンスの住宅は長く快適に住める

長期優良住宅

弊社の長期優良住宅については、下記QRコードからHPの「家造りの仕様と構造」をご覧ください。

高気密
高断熱
住宅



— 住まいとデザインの融合 —
Uniting of residence and design

P R E S E N C E .

株式会社プレゼンス

T 733-0034 広島市西区南観音町12-32 1階

0120-219-117

info@presence-net.jp

<https://presence-net.jp/>

